



八 剣 山 通 信



第85号

八 剣 山 発 見 隊
2009年3月21日 発行

3月20日 (金)

「2009 果樹せん定講習会」を開催しました。

【行事の概要】

今年の冬は例年より暖かい日が続き、2月はじめまでは積雪も例年より少なく感じられました。しかし、2月中旬から下旬にかけては雪の日が続いたことから、積雪も平年並みになったようです。

3月に入ると、降った雪もすぐに解けてゆき、また、積雪も日に日に少なくなっているようです。

この冬は例年になく暖かい日が続いたようですが、八剣山ふもとの果樹園では、昨年の12月からサクランボやリンゴの木の枝を選定する作業が行われています。積雪が少ない中で作業のため、作業効率は上がっているようですが、農家の皆さんは、今年も美味しい果物を皆さんにお届けするため冬の寒い季節も頑張って作業を行っています。

3月14日付け北海道新聞の夕刊に、今回実施する講習会の記事が掲載されましたが、八剣山のふもと「砥山ふれあい果樹園」のご協力で開催している「果樹せん定講習会」も、今年で5回目となりました。

自宅の庭に果樹を植えている方もたくさんいますが、そのせん定について専門的に学ぶ機会はほとんどなく、今回の講習会は、直接に専門家からせん定の方法を学ぶことのできる、たいへん貴重な機会です。

今回も、元北海道農業試験場果樹研究室長の京谷英壽先生のご指導により、果樹の剪定における注意点や疑問点について、具体的にアドバイスをさせていただきます。

・主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



【行事の感想】

この時期としては暖かく、曇り空から太陽が顔をのぞかせたかと思えば、ときどき雪がちらつく天候となりました。

北海道新聞で講習会の案内が掲載されたことから、80名を超える参加者が訪れたことから、車が駐車場に収まりきらず、道路にまではみ出していました。

はじめに八剣山発見隊事務局長の瀬戸さんからの説明があり、続いて講師の京谷先生から簡単な説明を受け、せん定するリンゴの木まで移動しました。会場の砥山ふれあい果樹園は、まだ80センチほどの積雪におおわれており、気温が暖かくて雪面がゆるんでいるせいか、移動の途中で多くの参加者が雪に抜かって足を取られていました。

リンゴの木のせん定方法については、1本の木の周りを回るようにせん定の方法を説明したほか、高い部分の枝については脚立に登って説明するなど、時間をかけて詳しく説明が行われました。

リンゴの木に続いて、サクランボの木のせん定方法についても説明が行われました。

講習会終了後の会場では、昨年収穫した果物で作ったリンゴジュースやワイン、ジャムなどが販売されていました。



【せん定方法を説明する京谷先生】

【今後の行事予定】

・5月16日 サクランボの花見会 (会員限定企画)

発行 : 八剣山発見隊 (事務局長 瀬戸 修一)

061-2275 札幌市南区砥山84番地

TEL&FAX 011-596-2694

E-mail setsyujp@ybb.ne.jp

http://www.hakkenzan.com/

2009 果樹せん定講習会



【 せん定するリンゴの木を囲む参加者 】



【 脚立に乗り高い部分の枝のせん定 】



【 せん定方法を聞く参加者と八剣山 】



【 リンゴの木のせん定が進む果樹園 】



【 せん定する木まで移動する参加者 】



【 サクランボの木のせん定方法を聞く参加者 】

